2011年　KANAGAWA LOCAL OF JAPANESE TRADE UNION CONFEDERATION

連合かながわ機関紙・カレント

CURRENT

2011/10/3

日本労働組合総連合会
神奈川県連合会（連合神奈川）
〒231-0023　横浜市中区山下町24-1
ワークピア横浜4F
TEL. 045(211)1133　FAX. 045(201)8866
発行責任者：柏木　教一

東日本大震災情報　ＦＡＸ版　２４

県内各地で預かった支援の心を届ける

つながろう NIPPON 連合

街頭募金１００万円を寄付

神奈川新聞 寄託 厚生文化事業団 ☎045(222)0615

東日本大震災救援金

（30日・本社受け）

▽連合神奈川（野村芳広会長）＝100万円＝横浜市中区山下町。

「4月に300万円を拠出けしましたが、その後もカンパ活動を継続、9地域連合で集めました。連合神奈川としては9月末で一定の区切りをつけますが、地域連合ごとに引き続き行政や姉妹都市を通じて支援活動をしていきます」と連合神奈川の野村芳広会長（左）

１０月１日　神奈川新聞より

連合神奈川は、３月１１日の東日本大震災発生後、様々な支援活動に取り組んでいます。その１つとして、９つの地域連合が中心となり、県内の各主要駅頭で募金活動を数多く実施してきました。

９月３０日、街頭募金で頂いた多くの市民の皆さんからの暖かい支援募金１００万円を神奈川新聞厚生文化事業団へ寄託し、日本赤十字社へ募金しました。

連合神奈川では、東日本大震災発生直後から、被災者支援・被災地の復旧・復興・再生への支援を目的に街頭募金活動を各地で展開してきました。４月２７日には、街頭募金など３００万円を、神奈川新聞厚生文化事業団を通じて日本赤十字社へ募金しました。連合神奈川は、その後も地域連合を中心に街頭募金活動を継続し、９月末現在の募金を集約し、前回と同様に、神奈川新聞厚生文化事業団へ寄託し、日本赤十字社へ募金しました。

多くのご支援に感謝

連合神奈川会長　野村　芳広

これまでの、数々の支援活動へのご協力に、感謝申し上げます。

連合神奈川は、大震災発生後、直ちに対策本部を立ち上げ、被災者・被災地への支援活動を開始し、募金活動を始め、物資支援や、被災地へのボランティア派遣などを行ってきました。

大震災から半年が過ぎましたが、復旧・復興そして再生には、まだ多くの課題は山積しています。私たち連合は、全国の仲間とともに、全力を尽くしてまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

連合神奈川は、９月末をもって、募金活動については一定の区切りを付けることとしました。組合員の皆さん、市民の皆さん、連合神奈川の構成産別の皆さんのご協力・ご支援に感謝申し上げます。

なお、募金活動は、地域連合ごとに、引き続き行政や姉妹都市を通して支援活動を行う予定となっていますので、引き続きのご協力をお願いします。

～～MEMO～～

神奈川新聞厚生文化事業団が、日本赤十字神奈川県支部に届けた金額は、９月末現在で１１億４千万円です。

使途は、義援金配分割合決定委員会で決定されますが、日本赤十字社などの義援金受付団体に寄せられた義援金は自治体を通じ全額が被災者の方々へ届けられることとなっています。

これまでのご協力に感謝申し上げます

連合関東ブロック代表から御礼の挨拶

3 月 11 日に発生した東日本大震災は、わが国にこれまで経験したことのない未曾有の被害をもたらしました。死傷者が 2 万人以上にものぼり、4 千人以上が現在も行方がわからないといった人的被害だけでなく、生活の基盤となる家屋やライフライン、そして役所を含む多くの公共施設も壊滅的な被害を受けました。

連合は、現地の情報収集を行い、当該地方連合会との連携のもと、3 月 31 日に最初のボランティアを被災地に派遣しました。連合関東ブロックとしましても、各地方連合会のご理解をいただきながら、5 月 2 日に最初の派遣を行い、今回、最終となる第 25 次の派遣が無事終了したところです。

派遣先が 5～6 月は福島県会津、7 月は岩手県住田、8 月からは岩手県大東へ変わり、当初 1 週間程度だった派遣期間も、4 日に短縮してより多くの方に参加していただきました。連合全体で約 6,000 人以上の組合員が参加し、関東ブロックでも約 450 人もの仲間が、被災家屋の片付け、泥の排除、事業場の清掃、支援物資の仕分け・運搬・配布、避難所の炊き出し等、さまざまな救援活動に取り組んできました。派遣内容も、一般ボランティアだけでなく、ボランティアの拠点となるベースキャンプの運営スタッフ、社会福祉協議会（社協）が行う陸前高田市の災害ボランティアセンターの運営スタッフなど、多岐にわたる派遣を行いました。民間では最大かつ最長の派遣で、被災者の気持ちに寄り添った連合のボランティアは、被災地から高い評価をいただきました。

今回の派遣をもって、連合全体での一般ボランティア派遣は一旦終了しますが、連合関東ブロックは、ボランティアセンターへの派遣について、今後も継続して取り組んでいきます。5 ヶ月にもわたる長期の取り組みへのご協力に感謝申し上げるとともに、引き続き、社協のボランティアセンターへの派遣についてご協力をお願いいたします。

連合関東ブロック連絡会
代　表　　大　野　　博